

2020年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年6月12日

上場会社名 株式会社ジェネレーションパス 上場取引所 東  
 コード番号 3195 URL <https://www.genepa.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 洋明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 智也 (TEL) 03-5909-2937  
 四半期報告書提出予定日 2020年6月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年10月期第2四半期の連結業績(2019年11月1日～2020年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第2四半期	5,768	24.6	67	401.9	56	194.0	23	466.8
2019年10月期第2四半期	4,629	7.2	13	—	19	—	4	—

(注) 包括利益 2020年10月期第2四半期 29百万円(—%) 2019年10月期第2四半期 2百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年10月期第2四半期	2.87	2.86
2019年10月期第2四半期	0.51	0.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年10月期第2四半期	3,950	1,628	41.0	200.11
2019年10月期	3,146	1,624	50.6	196.31

(参考) 自己資本 2020年10月期第2四半期 1,621百万円 2019年10月期 1,591百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年10月期	—	0.00	—	—	—
2020年10月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年10月期の連結業績予想(2019年11月1日～2020年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	17.9	100	402.6	100	225.2	70	507.1	8.47

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年10月期2Q	8,264,440株	2019年10月期	8,264,440株
② 期末自己株式数	2020年10月期2Q	159,747株	2019年10月期	159,747株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年10月期2Q	8,104,693株	2019年10月期2Q	8,104,693株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中の貿易摩擦の長期化に伴う世界経済の減退に加え、新型コロナウイルス感染症が全世界的に拡大し、世界経済に深刻な影響を与えており、国内における経済活動の低下と企業収益の減少が長期間に及ぶと懸念されております。

当社グループが属するEC市場におきましては、日本政府による緊急事態宣言の発令により、小売業界全体ではインバウンド需要及び個人消費が大幅に減少する等、売上の急減による収益の悪化が顕著となっているものの、EC市場におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛や在宅ワークが増加したことに伴い、EC需要が喚起された結果、大幅に伸長しております。

このような状況の中、当社グループの主力事業であります「ECマーケティング事業」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、家具・家電・医療用消耗品・生活雑貨等の売上が好調であったこと、当社子会社の株式会社カンナート（以下「カンナート社」といいます。）におけるECサポート案件等の売上が大きく伸長させたこと等により、売上高は四半期ベースで過去最高を達成しました。また、利益面におきましては、EC需要の高まりによる売上増の影響、ECサポート案件の増加の影響等により、前年同期を大きく上回る水準で推移しました。

「商品企画関連事業」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、メイン取扱商材である家具・寝具の売上が低調であったものの、青島新綻紡貿易有限公司（以下、「新綻紡社」といいます。）におきましては、事業の立上フェーズから収穫フェーズに移行したことにより、売上高は増収となりました。利益面におきましては、メイン取扱商材の販売の下期への期ずれに加え、当社ベトナム子会社であるGenepa Vietnam Co.,Ltd.（以下、「ジェネパベトナム社」といいます。）における各種投資コストを先行させた結果、前年同期を下回る水準で推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,768百万円（前年同期比24.6%増）、営業利益は67百万円（前年同期比402.0%増）、経常利益は56百万円（前年同期比194.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は23百万円（前年同期比466.9%増）となりました。

セグメントの業績につきましては、以下のとおりであります。

#### ① ECマーケティング事業

ECマーケティング事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、家具・家電・医療用消耗品・生活雑貨等の売上が好調であったこと、2019年11月に開店した「PayPayモール」が順調に売上を伸ばしたこと、カンナート社におけるECサポート案件等の売上が大きく伸長させたこと等により、売上高は前年同期比で29.3%増と四半期ベースで過去最高を達成しました。また、利益面におきましては、引き続き送料値上げの影響を自社で吸収している状況ではあるものの、各種利益改善の取り組みの効果が出始めたことに加え、EC需要の高まりによる売上増の影響、ECサポート案件の増加の影響等により、前年同期を大きく上回る水準で推移しました。

ECマーケティング事業のノウハウやビッグデータを活用したECサポート事業につきましては、株式会社ファミリーマートとの業務提携に伴い、新規EC事業の運用・保守等を推進してまいりました。今後も通販サイト「Kaema」におきましては、当社の戦略的店舗として売上拡大に向けた施策を積極的に推進させてまいります。

また、カンナート社は、web製作・ECサポートに加え各種システム開発に強みを発揮し、ECサポート案件の大型化が顕著になってきており、売上高及び利益ともに順調に推移しております。当連結会計年度における売上・利益の更なる増加が期待できるものと考えております。

以上の結果、売上高は4,654百万円（前年同期比29.3%増）となり、セグメント利益は174百万円（前年同期比124.6%増）となりました。

#### ② 商品企画関連事業

商品企画関連事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、メイン販売先での取扱商材である家具・寝具における納期調整が行われたことに伴いメイン商材の売上が低調であったものの、新綻紡社における寝具の売上が大幅に伸長したこと等により、売上高は増収となりました。利益面におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、メイン商材の販売が下期にずれこんだことに加え、ジェネパベトナム社の設立で発生した立上コストや新規商材開発投資及び新規顧客開拓投資等、将来を見据えた事業投資を加速した結果、前年同期を下回る水準で推移しております。なお、メイン商材の販売に関しましては、下期に集約して行われる見込みであり、

年間を通じての売上高及び利益は当初見込み通りに推移していくと考えております。また、ジェネパベトナム社は、当第2四半期連結会計期間で工場の稼働が開始されており、今後生産拡大に向け体制整備を行い、翌四半期以降に売上面・利益面で貢献していく見込みであります。

以上の結果、売上高は1,046百万円（前年同期比3.6%増）となり、セグメント利益は3百万円（前年同期比93.5%減）となりました。

### ③ その他

「その他」につきましては、ECマーケティング事業により得られるビッグデータを利用した非物販事業として、おしゃれなインテリア・雑貨の紹介、それらの実例の紹介及び家に関するアイデアを紹介するWEBメディア「イエコレクション」（<https://iecolle.com>）に掲載する記事数やPV数の拡大に向けた各種施策を継続的に実施してまいりました。当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による在宅時間の増加に伴い、PV数が過去最高を記録し、売上面、利益面ともに順調に推移いたしました。

また、システム開発事業におきまして、内閣府より「エビデンスシステム構築におけるシステム性能調査」にかかる受託売上が計上されており、売上面・利益面で寄与しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ804百万円増加し、3,950百万円となりました。これは主に、金融機関からの長期及び短期融資により現金及び預金が363百万円増加、取引高の増加により受取手形及び売掛金が235百万円増加、ジェネパベトナム社における設備投資により機械装置及び運搬具が106百万円増加したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ800百万円増加し、2,322百万円となりました。これは主に、M&Aに関する資金の需要への備えとして締結したコミットメントライン契約による融資により短期借入金が320百万円増加、季節変動により支払手形及び買掛金が152百万円増加、ジェネパベトナム社の追加設備投資を目的とした融資により、長期借入金が196百万円増加したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4百万円増加し、1,628百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が23百万円増加し、当社の連結子会社新綻紡社の株式の追加取得により非支配株主持分が26百万円減少したことによるものであります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ363百万円増加し、933百万円となりました。なお、当面の事業資金につきましては、コミットメントライン契約が継続していることから十分に手当てできていると判断しております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は49百万円（前年同四半期は39百万円の使用）となりました。税金等調整前四半期純利益の計上55百万円、仕入債務の増加額151百万円、法人税等の還付額9百万円等の資金の増加要因があったものの、売上債権の増加額235百万円、たな卸資産の増加額118百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は77百万円(前年同四半期は96百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出89百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は489百万円(前年同四半期は87百万円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金の増加額320百万円、長期借入れによる収入200百万円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月期の連結業績予想につきましては、2019年12月13日に公表いたしました内容から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	572,254	935,453
受取手形及び売掛金	798,108	1,033,463
商品及び製品	1,081,842	1,092,541
仕掛品	6,759	33,080
原材料及び貯蔵品	66,050	148,579
その他	260,558	301,518
貸倒引当金	△519	△686
流動資産合計	2,785,053	3,543,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,348	32,412
機械装置及び運搬具	13,799	119,800
工具、器具及び備品	19,274	40,474
リース資産	14,460	14,460
建設仮勘定	63,373	—
減価償却累計額	△24,287	△35,728
有形固定資産合計	97,970	171,419
無形固定資産		
のれん	182,486	171,139
ソフトウェア	23,735	21,827
その他	23	23
無形固定資産合計	206,245	192,990
投資その他の資産		
繰延税金資産	8,947	10,539
その他	47,921	31,999
投資その他の資産合計	56,868	42,538
固定資産合計	361,084	406,949
資産合計	3,146,138	3,950,898
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	613,918	766,866
短期借入金	540,000	860,000
1年内返済予定の長期借入金	—	40,200
リース債務	3,549	3,549
未払金	266,704	296,680
未払法人税等	9,829	31,754
賞与引当金	—	47,321
その他	69,357	104,739
流動負債合計	1,503,359	2,151,111
固定負債		
長期借入金	—	156,450
リース債務	9,996	8,221
資産除去債務	4,211	4,221
繰延税金負債	4,548	2,169
固定負債合計	18,755	171,062
負債合計	1,522,115	2,322,174

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	625,997	625,997
資本剰余金	615,059	619,147
利益剰余金	453,982	477,209
自己株式	△90,588	△90,588
株主資本合計	1,604,450	1,631,765
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△13,403	△9,945
その他の包括利益累計額合計	△13,403	△9,945
新株予約権	137	137
非支配株主持分	32,838	6,766
純資産合計	1,624,022	1,628,724
負債純資産合計	3,146,138	3,950,898



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年4月30日)
売上高	4,629,044	5,768,418
売上原価	3,380,679	4,180,210
売上総利益	1,248,365	1,588,208
販売費及び一般管理費	1,234,983	1,521,041
営業利益	13,381	67,167
営業外収益		
受取保険金	—	3,093
助成金収入	6,270	—
その他	1,901	1,588
営業外収益合計	8,171	4,681
営業外費用		
支払利息	912	782
為替差損	914	14,489
その他	531	151
営業外費用合計	2,358	15,422
経常利益	19,194	56,426
特別利益		
子会社株式売却益	1,121	—
特別利益合計	1,121	—
特別損失		
固定資産売却損	248	—
固定資産除却損	—	1,006
特別損失合計	248	1,006
税金等調整前四半期純利益	20,067	55,420
法人税、住民税及び事業税	15,044	33,508
法人税等調整額	2,069	△3,970
法人税等合計	17,113	29,538
四半期純利益	2,953	25,882
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,143	2,655
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,097	23,227

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益	2,953	25,882
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△294	3,854
その他の包括利益合計	△294	3,854
四半期包括利益	2,659	29,737
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,855	26,685
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,195	3,052

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	20,067	55,420
減価償却費	8,538	20,033
のれん償却額	11,624	11,491
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△170	584
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,066	47,321
受取利息及び受取配当金	△370	△178
支払利息	912	782
為替差損益(△は益)	△183	2,481
売上債権の増減額(△は増加)	217,687	△235,058
たな卸資産の増減額(△は増加)	△350,915	△118,389
仕入債務の増減額(△は減少)	96,103	151,349
未払金の増減額(△は減少)	20,505	28,770
その他	△23,453	△23,040
小計	11,412	△58,431
利息及び配当金の受取額	370	178
利息の支払額	△912	△782
法人税等の支払額	△50,598	9,135
営業活動によるキャッシュ・フロー	△39,728	△49,900
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
関係会社株式の売却による収入	1,019	—
有形固定資産の取得による支出	△6,198	△89,557
有形固定資産の売却による収入	2,650	—
無形固定資産の取得による支出	△3,251	△2,910
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△99,459	—
その他	9,123	14,958
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96,115	△77,509
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	160,000	320,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△72,001	△3,350
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△25,035
リース債務の返済による支出	△1,124	△1,774
その他	135	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	87,009	489,839
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	650
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△48,826	363,079
現金及び現金同等物の期首残高	700,146	570,889
現金及び現金同等物の四半期末残高	651,320	933,969

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、Genepa Vietnam Co.,Ltd.を新たに設立したため、連結の範囲に含めておりま  
す。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	ECマーケ ティング 事業	商品企画関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,600,860	1,010,873	4,611,733	17,310	4,629,044	—	4,629,044
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,600,860	1,010,873	4,611,733	17,310	4,629,044	—	4,629,044
セグメント利益	77,729	58,346	136,076	10,292	146,368	△132,987	13,381

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの受託開発、システム開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△132,987千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△132,987千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	ECマーケ ティング 事業	商品企画関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	4,653,886	1,046,211	5,700,098	68,319	5,768,418	—	5,768,418
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	287	644	932	0	932	△932	—
計	4,654,173	1,046,856	5,701,030	68,319	5,769,350	△932	5,768,418
セグメント利益	174,582	3,797	178,380	20,316	198,696	△131,529	67,167

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及びトリプルダブル社が行っているソフトウェアの受託開発、システム開発事業及びメディア事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△131,529千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△131,529千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、新たに設立したGenepa Vietnam Co.,Ltd.を「商品企画関連事業」に含めております。